

# シナプスを見る技術

## 動態から機能へ

Imaging synapses: from dynamics to function

日時

平成29年10月3日(火) 16:00～17:30



場所

外来診療棟 6 F 大講義室

講師

岡部 繁男 教授

東京大学大学院 医学系研究科  
神経細胞生物学

脳科学の中心的課題の一つとして、哺乳類の脳皮質・海馬などの高次脳中枢において神経回路がどのように形成され、その性質が経験依存的に変化するかを知ることがあります。神経回路における情報の蓄積や読み出しは脳の中心的な機能であり、その制御には神経細胞間でのシナプス結合の形成と機能調節が必須の役割を果たしています。私達の研究室ではシナプスの構造と分子の可視化を行うことによって、神経回路形成と維持におけるシナプスの形態・機能変化の果たす役割についてこれまで解析してきました。今回の講演では、シナプス形成における軸索や樹状突起から放出される因子の機能、脳皮質でのシナプス形成の個体レベルでのイメージングと疾患研究への応用、シナプスの超微細形態の持つ機能的意味、といったトピックスについて説明します。形態と機能が密接に関連しながら進行する、脳内でのシナプス形成のダイナミクスを研究することの意義とその将来展望についての理解を深めていただくことを目的としています。

**先端医学トピックスの講義としても開講します**

コーディネーター：生体構造解剖学分野 教授 仁田亮／システム生理学分野 教授 和氣弘明  
主催：シグナル伝達医学研究展開センター

連絡先：研究支援課研究企画係 Tel：5195/mail：k9shien@med.kobe-u.ac.jp